



安行小だより

安行小学校 6月号
令和3年6月1日

目指す学校像 光る所を伸ばし、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校

児童会スローガン「元気な笑顔 元気なあいさつ みんなで作ろう安行小」

あいさつ名人になろう

校長 池田 光伸



「不易と流行」という言葉があります。教育の本質を「未来を創造する次代の人材の育成」と捉えるならば、時代の変化とともに、教育内容と教育方法を見直し、柔軟に対応する必要があります。1人1台のPCタブレットの積極的活用はその例です。一方で「教育は、国家100年の計」とも言われ、いつの時代も変わらず大切にすべきものがあります。例えば、時代がどのように変わろうとも、人は人との関わり合いの中で生きています。だからこそ「人と人との関係を築くためのスタートは、今も昔も変わらず『あいさつ』から」であることはご承知のとおりです。

今朝も、ご家庭での一日のスタートは、家族みんなの清々しいあいさつから始まったでしょうか。以下、5月の全校朝会で話した「あいさつ名人になろう」の一部です。

「あいさつ」って、どうしてするのでしょうか？あいさつは、相手との心をつないでくれるものだから、と校長先生は考えています。気持ちの良いあいさつで、心もポカポカ温まりますもんね。もともと、あいさつという言葉には、「出会った人が互いに心を開いて、相手の心に寄り添っていく」という意味があるそうです。相手を思う気持ちを、短い言葉で一瞬にして表したものが、これがあいさつなんです。たった一言で、自分の考えや気持ちが伝えられるなんて、とても素敵だとは思いませんか。

では、どんなふうにあいさつをしたら、より相手に気持ちが伝わるでしょうか？

あ相手の目を見て、**い**いい笑顔で、**さ**さあ自分から、**つ**伝わるように**元気な声**で。

安行小のみんなが「あいさつ名人」になれることを期待しています。

この日以降、少しずつですが、**気持ちの良いあいさつ**が響き渡ってきたように感じます。ご家庭では、いかがでしょうか。



- ・「人に好感を持たれたければ、誰に対してもあいさつをすることだ。あいさつほど、簡単でたやすいコミュニケーション方法はない」デール・カーネギー氏（作家・実業家）
- ・「あいさつは、人間らしく生きるための基本の心である。親に、あいさつの心がないと、それは必ず子どもにも表れる」野村克也氏（元プロ野球監督）

毎月25日は、「ニコニコあいさつデー」です。25日の子ども達が登校する時間帯に、家の近くで、「おはよう」「行ってらっしゃい」の響き合いは、いかがでしょうか！コツは、ナイススマイルです。もちろん、下校時の「おかえり」もあれば、なお有り難いです。

安行の地にあいさつの輪を広げ、あいさつの花をたくさん咲かせたいのです！